

採択演題一覧（一般演題）

氏名(敬称略)	所属	演題名	演題番号	区分・日時
小田 柚香	東京医科大学 形成外科学分野	手部、足部熱傷に対するNexoBridの使用経験	O1-01	一般演題 1 (デブリードマン 1) 6/13(木) 13:40-14:50
長崎 敬仁	みつわ台総合病院 形成外科	当科における熱傷壊死組織除去剤NexoBridの使用経験	O1-02	
村上 公子	奈良県立医科大学 救急医学講座	当院におけるネキソブリッド外用ゲルの使用経験	O1-03	
浅井 晶子	JA愛知厚生連海陽病院 形成外科	両下腿の放射熱による2度熱傷に対しネキソブリッドを使用した症例	O1-04	
園分 佑紀	大阪急性期・総合医療センター	熱傷患者にネキソブリッドを使用した2例	O1-05	
小室 明人	金沢大学 形成外科	中等度の範囲の深達性熱傷に対するNexoBridの使用経験	O1-06	
水口 誠人	徳島大学病院 形成外科	徳島大学病院におけるネキソブリッド外用ゲルの使用経験	O1-07	
堀米 遼生	日本大学医学部 形成外科	変を込めたDDBの熱傷壊死組織デブリードマン	O2-01	一般演題 2 (デブリードマン 2) 6/13(木) 14:50-15:50
吉田 大作	北九州総合病院	scald burn症例にネキソブリッドで早期デブリードマンしたが壊死進行し植皮脱落した1例	O2-02	
塩沢 啓	福岡徳洲会病院 形成外科	ネキソブリッド使用当日および翌日に植皮術を施行した2例	O2-03	
東野 哲志	国立病院機構熊本医療センター 形成外科	受傷後72時間以上経過した症例に対するネキソブリッドの使用経験	O2-04	
古賀 一史	独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター	受傷後10日以上経過したDB2症例に対するネキソブリッドの焼痂除去効果	O2-05	
古川 航多	自治医科大学 形成外科	熱傷創に対するバイナップル基搾汁精製物ゲル使用時の疼痛管理の検討	O2-06	
菅原 隆	日本大学医学部附属板橋病院形成外科	COVID-19パンデミック前後での当院の熱傷患者の統計の変化	O3-01	一般演題 3 (疫学 1) 6/13(木) 9:15-9:55
金子 典芳	金沢医科大学 形成外科	令和6年能登半島地震における熱傷症例の検討	O3-02	
小川 由季	一般社団法人日本スキンバンクネットワーク	日本スキンバンクネットワーク2023年度活動報告～8年間のドナー・レシピエント情報～	O3-03	
青木 大	一般社団法人日本スキンバンクネットワーク	日本スキンバンクネットワーク8年間の供給実績の分析	O3-04	
宇都宮 剛	大阪府 健康づくり課	NDBオープンデータでみた小範囲熱傷の疫学	O4-01	一般演題 4 (疫学 2) 6/13(木) 10:05-10:45
松浦 裕司	大阪府立中河内救命救急センター	当センターに搬送された熱傷患者の受傷原因の検討	O4-02	
黒木 雄一	JCHO 中京病院 救急科	高齢者熱傷の受傷原因と予防策	O4-03	
大須賀 章倫	JCHO 中京病院 救急科	熱傷予防に向けた愛知県医師会の取り組み	O4-04	
中島 紳史	JCHO 中京病院 救急科	TSSと非TSSによる感染性ショックの差異	O5-01	一般演題 5 (感染とその先) 6/13(木) 13:40-14:50
谷崎 眞輔	福岡県立病院救命救急センター	当院ICU入室した熱傷患者における多剤耐性菌の検出状況	O5-02	
池側 均	関西医科大学附属病院 高度救命救急センター	入院加療を行った小児熱傷症例における発熱と熱傷感染の関連について	O5-03	
福田 隆人	ヘルランド総合病院 救命救急部	受傷直後の好中球数は予後予測に有用である	O5-04	
田島 吾郎	長崎大学病院 高度救命救急センター	トランスクリプトーム解析で抽出した遺伝子の発現パターンによる全身性炎症の病態判別	O5-05	
大西 伸也	大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター	重症熱傷治療における短半減期型抗IL-6受容体抗体の効果と血管内皮保護機序	O5-06	
大隈 彩加	JA長野厚生連佐久総合病院 佐久医療センター	熱中症に合併して下肢熱傷を受傷した3症例	O6-01	一般演題 6 (症例報告) 6/14(金) 10:20-11:10
今村 正樹	春秋会城山病院 形成外科	局所皮膚血流障害により足部に低温熱傷を発症した2例の検討	O6-02	
本間 健人	東京女子医科大学病院 形成外科	HIFU熱傷の2例	O6-03	
三山 彩	日本医科大学 千葉北総病院 形成外科	IH調理器の残留熱の変化と熱傷リスクの検討	O6-04	
飯塚 千佳	東京女子医科大学病院 形成外科	高齢者によるパランス釜熱傷の2例	O6-05	
石井 陸	北海道大学 大学院医学研究院 形成外科学教室	非固着性シリコーンコーティングレスリング材Siメッシュを用いた熱傷パッチ植皮手術の工夫	O7-01	一般演題 7 (手術手法) 6/14(金) 9:20-10:20
坂本 拓海	広島大学病院 皮膚科	深達性2度熱傷に対してマイクログラフィを使用した熱傷患者の2例	O7-02	
大井 皓介	横浜市立大学附属市民総合センター 高度救命救急科	熱傷創に対するMEEKシステムを利用した全層植皮術	O7-03	
掛川 恭吾	信州大学 医学部 形成再建外科学教室	股部潰瘍に対する埋入植皮の有用性	O7-04	
吉岡 日香里	聖隷三方原病院 形成外科	うずまきsuture法による分層植皮術の固定	O7-05	
幸路 徳	千葉県総合救急災害医療センター 形成外科	熱傷治療における四肢切断の有用性および術式についての検討	O7-06	
久保 貴嗣	JCHO中京病院 リハビリテーションセンター	ECMOを要した気道損傷患者の遠隔期における呼吸機能の変化を測定した1例	O8-01	一般演題 8 (熱傷ケア) 6/14(金) 10:20-11:20
蔵浦 由香	大阪大学医学部附属病院	意識疎通が困難な重症熱傷患者に対し、意思を読み取る工夫をして看護介入を行った1例	O8-02	
久保 大輔	東海大学医学部附属病院 リハビリテーション科	高齢の重症熱傷患者における退院時の日常生活活動能力の特徴	O8-03	
佐藤 幸男	慶應義塾大学 医学部 救急医学	熱傷患者の社会参加を評価する患者報告アウトカム尺度LIBRE Profile日本語版の開発	O8-04	
羽多野 隆治	大阪市立総合医療センター 形成外科	頸部熱傷後癩癩患者における甲状腺癌に対する治療経験	O8-05	
久徳 茂雄	市立奈良病院 再建形成外科	熱傷患者の退院後長期フォローの必要性について	O8-06	
松村 一希	東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター	気道損傷における避発性上気道狭窄の予測スコア(PDIスコア)の外的妥当性の検討	O9-01	一般演題 9 (未来を見据えて) 6/14(金) 11:20-12:20
中谷 至秀	兵庫県災害医療センター 救急部	当院での単独2度熱傷7例から深達性リスクを検討する	O9-02	
吉野 匠	山梨県立中央病院 高度救命救急センター	術中低体温に至るリスク因子についての検討	O9-03	
宮崎 裕美	防衛医科大学校 防衛医学研究センター 医療工	重症熱傷モデルマウスにおけるミトコンドリア機能と品質管理機構の検討	O9-04	
大山 拓人	福岡大学 医学部 形成外科	創部滲出液内の創傷治療に関わる細胞間ネットワーク因子のELISA法による定量化の試み	O9-05	
佐藤 佑樹	東北大学大学院 医学系研究科 看護技術開発学	マウス熱傷創治療におけるC型レクチン受容体Dectin-1の機能	O9-06	
三井 美樹	日本大学 医学部 形成外科	RECELLによる熱傷治療症例の検討	O10-01	一般演題 10 (植皮) 6/14(金) 14:40-15:30
岩本 博司	近畿大学病院 救命救急センター	RECELL作製時にできるskin debrisの使用経験	O10-02	
大島 純弥	筑波大学医学系形成外科	RECELL単独による小児深達性II度熱傷の治療	O10-03	
渡邊 亮典	愛知医科大学病院 形成外科	MEEKシステムとRECELLを併用した植皮部における上皮化率の比較検討	O10-04	
渡會 咲耶	公立富山総合病院 形成外科	化学熱傷に対してネキソブリッドとRECELLを用いた治療の経験	O10-05	
猪原 康司	鹿児島市立病院 形成外科	遊離組織移植術による創閉鎖を要した熱傷症例	O11-01	一般演題 11 (再建) 6/14(金) 15:30-16:20
大沼 眞廣	札幌東徳洲会病院 形成外科	遊離前外側大腿皮弁および再建を行った手部ヒートプレス損傷の1例	O11-02	
小野 典平	日本医科大学 形成外科	穿通枝付加プロペラ皮弁で再建した肩関節前面から腋窩の熱傷後癩癩拘縮の1例	O11-03	
重吉 佑亮	信州大学 形成再建外科教室	小児会陰部・肛門周囲熱傷に対して人工肛門造設、膀胱瘻造設、会陰部再建を行った1例	O11-04	
菅谷 公佑	堺市立総合医療センター 形成外科	熱傷後頭部癩癩拘縮に対する植皮：胸部における植皮の有用性について	O11-05	
北垣 博基	岐阜大学医学部附属病院	接触熱傷による深達性2度熱傷に対してネキソブリッドが有効であった1例	P1-01	ポスター-1 6/13(木) 14:50-15:50
三橋 咲	弘前大学 形成外科	術後早期に生じた癩癩拘縮に対し再手術と装具で再拘縮を予防し得た小児上肢熱傷の1例	P1-02	
林 千勢	愛知医科大学 形成外科	精神状態の悪化により治療に難化した熱傷患者の1例	P1-03	
関口 真央	北里大学病院 形成外科・美容外科	透析シャント部位の2度熱傷に対して壊死組織除去剤を使用した1例	P1-04	
松島 知秀	近畿大学病院 救命救急センター	膝関節包壊死により関節腔内が露出し難化した1症例	P1-05	
菅谷 一樹	福島県立医科大学 医学部 救急医療学講座	ケタミンによるアナフィラキシーのため、ニューロレプト麻酔法で鎮痛した爆傷の1例	P2-01	ポスター-2 6/13(木) 14:50-15:50
増田 太郎	神戸市立総合医療センター	気道損傷に肺炎と心不全を合併し、VV-ECMOを使用した1例	P2-02	
八尾 航	奈良県立医科大学付属病院 高度救命救急センター	熱傷受傷後38病日に十二指腸潰瘍穿孔を合併した1例	P2-03	
崔 貴成	東海大学医学部附属 総合診療学系救命救急医学	広範囲熱傷患者に対して早期にRECELLを併用し救命できた1例	P2-04	
中川 智生	東海大学医学部附属病院 救命救急科	壊死組織除去剤を用いてデブリードマンを行った化学熱傷の1例	P2-05	
黒神 祐	市立豊中病院 皮膚科	熱傷創に対してデブリードマン及び植皮術後に銀含有ハイドロファイバーを使用した1例	P3-01	ポスター-3 6/14(金) 15:20-16:20
柴 将人	岐阜大学 医学部附属病院 高度救命治療センター	植皮術後の過剰肉芽にヒドロコルチゾン・混合死菌汚遊液軟膏が有効であった1例	P3-02	
熊澤 恵一	北里大学 医学部 形成外科・美容外科学	術後早期の可動域訓練により肥厚性癩癩を生じた手背熱傷の1例	P3-03	
藤原 文麗	横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救急科	頭部III度熱傷の術後慢性期に中枢神経障害を生じた1例	P3-04	
柴田 凌吾	関西労災病院	3度熱傷の白色壊死組織に対して壊死組織除去剤と持続陰圧洗浄療法にて加療した1例	P3-05	
茂野 綾美	JCHO 中京病院	小範囲2度熱傷から毒性性ショック症候群に至り、心筋障害を生じた1例	P4-01	ポスター-4 6/14(金) 15:20-16:20
渡辺 崇行	国立病院機構 熊本医療センター 救命救急センター	自傷による全身III度熱傷の1例(自死遺族対応チームの活動)	P4-02	
久保 貴嗣	JCHO中京病院 リハビリテーションセンター	ECMOを要した重症気道損傷患者への呼吸理学療法を経験した1例	P4-03	
武崎 紗恵子	東京女子医科大学八千代医療センター 形成外科	塩化アンモニウム溶液による化学熱傷の1例	P4-04	
鳥居 祐希	三川県立中央病院 形成外科	顔面熱傷に毒性性ショック症候群(toxic shock syndrome)を合併した1例	P4-05	

※掲載順は区分ごととしております

※一部応募と異なる区分に分類されている演題がありますが、ご了承ください